

## 当院での COVID-19 病棟におけるリハビリテーション状況に関する研究

2020 年から 2022 年までに新型コロナウイルス感染症のために当院で入院加療を受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「当院での COVID-19 病棟におけるリハビリテーション活動報告」という研究を行います。この研究は、**2020 年 1 月 1 日より 2021 年 5 月 8 日**までに日本医科大学千葉北総病院にて、新型コロナウイルス感染症に罹患し入院加療を受けた患者さんの動向を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：当院での COVID-19 病棟におけるリハビリテーション活動報告

研究期間：倫理委員会承認日～2022 年 12 月 31 日

研究責任者：日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科 塚田 薫子

#### (2) 研究の意義、目的について

本研究は新型コロナウイルス感染症に罹患し当院で入院加療を受けた患者さんの概要をまとめるためのものです。入院中にリハビリテーションを行った患者さんについて、重症度分類や年齢、リハビリテーションの実施状況等で分類し、どのような特徴や傾向があるかを捉え、リハビリテーションの有効性を明らかにすることを目的とします。

#### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020 年 1 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までに日本医科大学千葉北総病院にて、新型コロナウイルス感染症に罹患し入院加療を受けた患者さんの診療記録より、以下の情報を収集します。重症度分類や年齢、リハビリテーションの実施状況等で分類し、以下の情報にどのような特徴や傾向があるか統計処理を行い解析した上で、新型コロナウイルス感染症患者さんに対してのリハビリテーションの有効性についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液（入院中の採血データより収集するため、新たに採取することはありません。）

情報：年齢、性別、重症度（新型コロナウイルス感染症診療の手引きに基づいた重症度分類）、投薬状況（COVID-19 関連治療薬の有無）、酸素投与状況（挿管下人工呼吸器管理、酸素投与あり、酸素投与なし）、炎症値、腎機能、栄養状態、握力・筋力等の身体機能評価、日常生活動作評価、リハビリテーション実施日数、リハビリテーション実施時間、在院日数、転帰、当院での感染予防対策

#### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

#### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

#### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 リハビリテーション科 理学療法士 塚田 薫子

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

電話番号：0476-99-1111（代表） 内線：5860

メールアドレス：tsukada-k@nms.ac.jp